

(全体進行：教頭1)

1 校長挨拶

2 校内参観(分散授業参観[2・3・6年生]の様子を参観)

3 協議・交流 <(2)以降は運営協議会員の意見を中心に記録>

(1)御嵩小からの伝達内容(学校職員より)

- ①令和5年度へ向けた学校経営構想について (校長)
- ②現在の子どもの様子や体力・健康について (教頭2)
- ③令和5年度主な学校行事について、登校時間の変更について (教務主任)
- ④保護者・児童アンケート[後期]結果について、令和5年度PTA活動や組織について (教頭1)

(2)運営協議会員より感想やご意見 (進行：運営協議会長)

①授業中(子ども・保護者)の様子について

- ・先日、地域学校協働活動フォーラム(Web)参加のため御嵩小に来校した時、掃除の時間だったが会場の場所まで児童が案内してくれた。トイレを覗くと、長靴を履いてブラシで一生懸命掃除をしていた。そんな子どもたちの対応や姿から、涙が出そうになった。
- ・全体的によい雰囲気で授業に参加している。特に、高学年の授業に臨む姿勢や2年生の自然と拍手が生まれ仲間を応援する姿がよい。
- ・個人だけでなく、グループ発表の様子から仲間関係が育っていることが伝わってきた。
- ・掲示物の記名が、丁寧にされており、児童の心も育っていることが伝わってきた。
- ・「ありがとうの木」のように、表に出さないと分からない仲間のよさがあるので、よい取組だと感じた。
- ・ノート展を児童が見ることで、自分を見直したり、よさを認め合ったりする切っ掛けとなる。
- ・自分でできることを増やして、進級させてやってほしい。
- ・6年生に、中学生となっていく最高学年らしい姿があった。保護者に感謝の気持ちを伝え一体となっていた。
- ・小6が中1になった時、雰囲気(素直さ)が変わってしまうことを心配している。
- ・参観中、保護者の会話をしている声が気になった。

②幼保小中高の連携について

- ・園の先生たちは、卒業させた園児たちが小学校でよさを発揮できているか不安になる時がある。コロナ禍が治まってきたら、夏休みに幼保小をつなぐ関係づくりができるとよい。
- ・幼保小だけでなく、幼保小中で連携していけるとよい。

③登下校の様子について

- ・昨年度より、挨拶がよく返ってくるようになった。児童会の挨拶運動に参加した際も、最終日には大きな声の挨拶になっていた。
 - ・5・6年生の登下校の様子が、ダレているように思う。
 - ・自治会内に小学生がたくさんいるのに、分団の見守りがいない自治会もあるようだ。
 - ・登下校に関わって困っていることはないか。
- ⇒随時PTA地区委員から情報が上がってくるので、今のところ担当職員で対応することができている。

④児童の体力・健康面について

- ・児童の体力アップが、町の力になっていく。
 - ・マスクを外したくても、子どもが判断に迷うことがあるので、教師から外してよいことを発信してほしい。
- ⇒逆に、外すことに抵抗がある(恥ずかしいと感じている)子も多い。まずは、教師が外している姿を示していきたいと考えている。

⑤学校運営協議会員の在り方について …「岐阜県地域学校協働活動フォーラム2022」から

- ・役割や目標を、より明確にする必要がある。
- ・町内6校の運営協議会員が、同じ認識をもてるようになりたい。地域の特性をふまえた“熟議”をしていく。
- ・どこまで、学校に意見を言ってもよいのか、運営協議会員も勉強が必要である。

4 校長よりお礼の言葉